

海外におけるアントレプレナーシップ教育関連の事例

1. アメリカ

(1) Kauffman Center for Entrepreneurial Leadership

<p>教育の対象者 すべての年齢階層の人</p> <ul style="list-style-type: none">・詳細を後述する子ども・若者向けプログラムの対象は、幼稚園児～短期大学 (community college) 学生、5～18歳。現在、5千4百万人以上の若者がこの教育を受けている。
<p>教育の実施者 Kauffman Center for Entrepreneurial Leadership</p> <ul style="list-style-type: none">・1992年、自立した人間による健全な社会の構築を目指す Kauffman と Ewing Marion Kauffman 財団 (Foundation) によって設立された、すべての年齢階層の人に対して起業家的成功を提供することを専門とした最大の組織。・アントレプレナーシップ教育の提供と、起業環境の向上を事業の2本柱としている。 <p>* Ewing Marion Kauffman 財団 (Foundation) 自立した人間による健全な社会の構築を目指す私設の基金。社会の満たされないニーズを研究・解明し、持続的インパクトを有し、人々に未来への希望や選択肢を提供するような打開策を開発・提供・資金援助する。若者の成長と起業家的リーダーシップに重点を置いて活動している。</p>
<p>教育プログラムの企画者 Kauffman Center for Entrepreneurial Leadership</p>
<p>教育プログラムの目標 自立した人間による健全な社会の構築</p> <p>ビジョン：当センターを通して以下のようなことが行われることを目指している。 新興の起業家がビジネスを成長させる手法を学び、成功した起業家が自分の経験を共有することで社会に還元する。 教育者が起業家精神のコンセプト・スキル・価値観・心構え等を若者に対して教える方法を学ぶ。 研究者、教育者、起業家が一丸となって起業家を支援する。</p> <p>ミッション：以下のようなことの媒介者 (catalyst) となる使命を負っている。 営利・非営利の両セクターにおける起業家的リーダーシップを触発する。 起業家を成功へと導く決定的スキル・価値観を研究・解明し、教育し、普及させる。 起業のおもしろさと機会を若者に紹介する。 起業支援を他者に促す。</p>
<p>教育プログラムの目的 アメリカにおける起業家精神の向上。</p> <p>当センターの起業家訓練学校 (Entrepreneur Training Institute) は、大人の起業家のニーズに応える教育・訓練・研究への取り組みおよび起業支援システムのスポンサーとなっている。</p> <p>アントレプレナーシップ教育学校 (Institute for Entrepreneurship Education) は、多種多様な体験型の教育への取り組みによって、幼稚園児から短期大学 (community college) までの学生の起業家精神の向上を図っている。</p> <p>非営利部門とコミュニティ起業家精神部門は、非営利セクターにおける起業家精神、</p>

起業家精神に関連する公的政策、起業家精神を支援する地域のインフラストラクチャーに焦点を当てた活動を実施している。
教育プログラムの内容 プログラムの内容 ・子ども・若者向けプログラム 大学や学校、若者組織と連携し、その教育者や指導者を訓練して、プログラムの普及を図っている。 ここに該当する以下のプログラムのみ詳細を後述する。 Agri-Entrepreneurship Education Program DECA Entrepreneurship Awards Program The E in Me Entreprep The Kauffman Center Entrepreneurial Leadership Clearinghouse on Entrepreneurial Education (CELCEE) MADE-IT (Mother and Daughter Entrepreneurs in Teams) Making a job Mini-Society New Youth Entrepreneur ・大学生向けプログラム ・大人向けプログラム ・社会(非営利セクター)向けプログラム ・公共政策：政府および地方政府的公共政策に影響を及ぼすことを目指した取り組みに対して出資している。 ・研究：成功した起業家がどのようにして成功を得たかについて共同研究を実施。
照会先 Ewing Marion Kauffman Foundation ・4801 Rockhill Road, Kansas City, Missouri 64110-2046, U.S.A. ・TEL: +1-816-932-1000 Email: info@emkf.org

(資料)Kauffman Center for Entrepreneurial Leadership ホームページ
<http://www.emkf.org/pages/150.cfm>

Agri-Entrepreneurship Education Program

<p>教育の対象者 農業に従事する若者 教育プログラム実施のコーディネーター Kauffman Center for Entrepreneurial Leadership National FFA Organization 教育プログラムの企画者 Kauffman Center for Entrepreneurial Leadership National FFA Organization National Council for Agricultural Education</p>
<p>教育プログラムの内容 実施場所 ・ Kauffman Agri-Entrepreneurship 賞(Awards)は、National FFA Organization が毎年開催する National FFA Convention と同時開催する Agri-Entrepreneurship Education Development Forum にて授与する。 プログラムの内容 ・ 農業ベンチャーの成長において優勝した学生および、その指導啓発にあたった教師に Kauffman Agri-Entrepreneurship 賞(Awards)を授与する。優勝者は、National FFA Convention Career Show において自身のベンチャーについて展示をおこなう。 ・ 賞金は個人に\$1,000、その個人の所属する FFA グループに\$500。</p>

(資料)Kauffman Center for Entrepreneurial Leadership ホームページ

<http://www.emkf.org/pages/22.cfm>

National FFA Organization ホームページ

http://www.ffa.org/programs/ag_ent/students/index.html

東北経済産業局

「アントレプレナーシップ教育プログラムの普及に関する東北的モデル検討調査報告書」
(H13年度)

DECA Entrepreneurship Awards Program

<p>教育の対象者 DECA (Distributive Education Clubs of America) のアメリカ国内 5,500 の高校支部に所属する高校生</p> <p>教育の実施者 高等学校</p> <p>教育プログラム実施のコーディネーター Kauffman Center for Entrepreneurial Leadership DECA (Distributive Education Clubs of America)</p> <p>教育プログラムの企画者 Kauffman Center for Entrepreneurial Leadership DECA (Distributive Education Clubs of America)</p>
<p>教育プログラムの内容</p> <p>実施場所 ・高等学校</p> <p>プログラムの内容 ・中高生を対象にしたアントレプレナーシップクラブ(entrepreneurship clubs)を設立する資金を提供する。 ・ビジネスプランの作成とマーケティングをおこなう教育資源と機会を生徒に提供する 2つのコンペを支援する。</p>

(資料)Kauffman Center for Entrepreneurial Leadership ホームページ

<http://www.emkf.org/pages/23.cfm>

The E in Me

<p>教育の対象者 高校生</p> <p>教育の実施者 高等学校</p> <p>教育プログラム実施のコーディネーター Kauffman Center for Entrepreneurial Leadership Agency for Instructional Technology(A.I.T.)</p> <p>教育プログラムの企画者 Kauffman Center for Entrepreneurial Leadership Agency for Instructional Technology(A.I.T.)</p>
<p>教育プログラムの内容</p> <p>実施場所 ・高等学校</p> <p>プログラムの内容 ・起業家精神と、市場機会を認識し、それを評価する方法を教え・学ぶための高校生向けマルチメディア教育システム。 ・以下のもの構成される。 若手起業家を紹介した15分ビデオ3本と指導教材 3単元で構成される生徒用学習ガイドブック 双方向型ビデオレーザーディスクおよびそのビデオ版 学生や教師を対象にした電子フォーラム 起業家精神に関連するホームページへのリンク集 教師に対する情報豊富な普及啓発用ビデオ 指導者用ガイドブック</p> <p>講師 ・高等学校教師 Agency for Instructional Technology(A.I.T.)が年間を通じて高等学校教師向けにワークショップを開催している。</p>

(資料)Kauffman Center for Entrepreneurial Leadership ホームページ
<http://www.emkf.org/pages/24.cfm>

Entreprep

<p>教育の対象者 高校 2 年生 選ばれた高校 2 年生。Kauffman Center for Entrepreneurial Leadership 奨学生 (Scholar) に任命される。</p> <p>教育の実施者 Kauffman Center for Entrepreneurial Leadership</p> <p>教育プログラム実施のコーディネーター Kauffman Center for Entrepreneurial Leadership 管理・運営担当者：Carol Majors (Kauffman Center for Entrepreneurial Leadership の senior director)</p> <p>教育プログラムの企画者 Dr. Marilyn Kourilsky (Kauffman Center for Entrepreneurial Leadership の理事会(the board of directors)の chief education advisor)</p>
<p>教育プログラムの目標 高校 2 年生の起業家精神を啓発する。</p> <p>教育プログラムの目的 才能とやる気のある高校 2 年生が、新たにビジネスを開始するのに必要な起業知識と専門技術を身に付けることを支援する。 生徒は、ビジネスの機会を認識することを学び、成功したビジネスのスタートアップの段階がどのように運営されるかを理解する。 生徒に、起業家となり、ビジネスを開始するための基礎的概念やスキルを提供する。</p>
<p>教育プログラムの内容 実施期間・回数・頻度・延べ時間 ・高校 2 年時：オリエンテーション 1 回、1 週間の夏期キャンプ。 ・高校 3 年時：最低 150 時間のインターンシップ。</p> <p>実施場所 ・学校外での学習体験として実施されている。</p> <p>プログラムの内容 ・オリエンテーションとミーティング インターンシップ先の起業家またはメンターによる ・夏期キャンプ(1 週間の宿泊型プログラム) 起業家精神やビジネス開業の鍵となる知識やスキル、心構えに重点を置きながら、起業や新規ビジネスの多様な段階を教える。プログラムを通して、生徒は、起業家の役割と起業家精神の特徴について理解を深め、インターンとしてビジネスのスタートアップの段階を補佐し、いずれは自分のビジネスを興すためのスキルを身に付ける。 ・インターンシップ 高校 3 年時に、スタートアップ段階の企業またはビジネスインキュベーションに関わっている企業において最低 150 時間のインターンを実施する。企業のスタートアップの段階の活動やビジネスベンチャーの鍵となる機能を直接的に補佐することで、起業の世界を直に体験する。また、インターン先のベンチャー企業をケーススタディーとして評価し、自分が働いたベンチャー企業の改善策を提案する。 インターンシップの期間中、Entreprep プログラムの運営者とプログラムパートナーは、生徒に対してフォローアップセミナーをおこなう。セミナーでは、新ビジネスの運営や体験における生徒とベンチャー企業の異なる見方について意見交換をおこなう。特別ゲストや地域の起業家が招かれることもある。 ・他のメンタリングプログラムと異なる本プログラムの特徴は、生徒は、オリエンテ</p>

東北経済産業局

「アントレプレナーシップ教育プログラムの普及に関する東北的モデル検討調査報告書」

(H13年度)

ーションと夏期キャンプを通じて、インターン先の起業家自身が起業の鍵と考えるスキルや技術を教わるため、インターン開始時から、その起業家にとって役立つ存在になることができることである。

講師

- ・Kauffman Center for Entrepreneurial Leadership
- ・インターン先の起業家またはメンター

(資料)Kauffman Center for Entrepreneurial Leadership ホームページ

<http://www.emkf.org/pages/25.cfm>

The Kauffman Center Entrepreneurial Leadership Clearinghouse on
Entrepreneurial Education (CELCEE)

<p>教育の対象者 教育者、マスメディア、研究者、政策立案者など</p> <p>教育の実施者 Kauffman Center for Entrepreneurial Leadership University of California Los Angeles(UCLA)</p> <p>教育プログラムの企画者 Kauffman Center for Entrepreneurial Leadership University of California Los Angeles(UCLA)</p>
<p>教育プログラムの内容</p> <p>プログラムの内容</p> <ul style="list-style-type: none">・世界中の起業家精神やアントレプレナーシップ教育に関する情報を収集し、見出しを付け、要約を付けたホームページ。www.celcee.edu.・あらゆる年齢階層におけるアントレプレナーシップ教育に関する資料の要約（10,000以上）・起業家精神やアントレプレナーシップ教育に携わる組織のリンク集・最新の教育情報をダイジェスト形式で紹介する独自の出版物の発行・ホームページには、Alta Vista 翻訳機能が付加されており、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、ポルトガル語、スペイン語との間で翻訳が可能。・ホームページの利用者は、ホームページに掲載された最新情報の特集を掲載した月間の CELCEE ニュースレターの購読ができる。
<p>教育プログラムの効果</p> <p>教育者、マスメディア、研究者、政策立案者が、起業家精神やアントレプレナーシップ教育に関する情報を収集する際の有力な情報源として活用されており、毎月258,000ものアクセスを得ている。</p> <p>25の主要な検索エンジンの中で、7回の第1位を含むトップ10の座を獲得している。</p>

(資料)Kauffman Center for Entrepreneurial Leadership ホームページ
<http://www.emkf.org/pages/208.cfm>

MADE-IT (Mother and Daughter Entrepreneurs in Teams)

<p>教育の対象者 中学校1年の女生徒とその母親 選ばれた、中学校1年の女生徒とその母親</p> <p>教育の実施者 Kauffman Center for Entrepreneurial Leadership 管理・運営担当者：Carol Allen Majors (Kauffman Center for Entrepreneurial Leadershipのsenior director)</p> <p>教育プログラムの企画者 Dr. Marilyn Kourilsky (Kauffman Center for Entrepreneurial Leadershipの理事会(the board of directors)のchief education advisor。企画当時は、Kauffman Center for Entrepreneurial Leadershipのvice president)</p>
<p>教育プログラムの目的 中学1年の女生徒とその母親によるチームに、ビジネスの機会を認識し、ビジネスプランを作成し、ビジネスを開始する起業家精神の知識・スキルを提供する。 各チームがビジネスを興すことを支援する。そこから得た利益は、娘の大学進学費用として使うことができる。</p>
<p>教育プログラムの内容 実施期間・回数・頻度・延べ時間 ・1995年に開発された。 ・中学1年から3年までの2年間</p> <p>実施場所 ・学校外</p> <p>プログラムの内容 ・母親とその娘によるチームが、アイデアをビジネスへと形作っていくことを支援する。 ・母親とその娘は、ビジネスにおいて、また家庭生活において、互いに良きパートナーとなるよう、ビジネスプランの作成方法や交渉戦略を学ぶ。 ・MADE-IT Academy オリエンテーション 各チームは、本プログラムについて学び、ビジネスのアイデアを発展させることについて話し合い、ビジネス機会を認識する方法を学ぶ。 ・夏期講習(1週間の宿泊型のプログラム) ビジネスプランの作成とビジネスを開始することについての基礎的コンセプトを学ぶ。 ・MADE-IT ビジネスプラン・コンペ (Ewing Marion Kauffman 財団主催) ・ワークショップ MADE-IT ビジネスプラン・コンペの最終選考に残ったいくつかのチームのみ参加できる。メンタリング他の支援を受けられる。</p>
<p>教育プログラムの効果 参加者は、機会の認識とビジネスベンチャーの創造を通して、アイデアを企業へと形作っていく方法を学び、仕事と人間関係を構築し、大学に行く資金を稼ぎ、自ら自分の上司となり、自立し、新しい人と出会い、楽しむことができる。 娘が母親への反抗期に突入する中学1年生を対象に参加者を募集することで、母親と娘が、新たなコミュニケーションの方法と、互いの力を補佐し合う方法を見出せるようになることが、付随的な、しかし非常に重要なメリットである。 本プログラム開始以来、カンザス、ミズーリ、カリフォルニア、フロリダ、アイオ</p>

東北経済産業局

「アントレプレナーシップ教育プログラムの普及に関する東北的モデル検討調査報告書」

(H13年度)

ワ、マサチューセッツ、ニューヨーク、オレゴンの各週から 154 組の親子が参加した。

(資料)Kauffman Center for Entrepreneurial Leadership ホームページ

<http://www.emkf.org/pages/27.cfm>

Making a job

<p>教育の対象者 中学生</p> <p>教育の実施者 中学校</p> <p>教育プログラム実施のコーディネーター Kauffman Center for Entrepreneurial Leadership</p> <p>教育プログラムの企画者 Kauffman Center for Entrepreneurial Leadership</p>
<p>教育プログラムの目的 起業が実践可能なキャリア選択肢の一つであることを体験を通じて認識させる。</p>
<p>教育プログラムの内容 実施期間・回数・頻度・延べ時間</p> <ul style="list-style-type: none">・通常の授業時間中（社会科、語学、美術など）・課外活動・起業家精神や起業家的考え方についての特別授業 <p>実施場所</p> <ul style="list-style-type: none">・中学校 <p>プログラムの内容</p> <ul style="list-style-type: none">・市場機会を認識し、ビジネスアイデアを創造・評価し、ビジネスアイデアの実現可能性を見付け出す。・起業家について、何をする人か、特質やスキル、どのように社会に貢献しているかを見付け出す。・学校終了後や夏休み中にでも彼らが始められるビジネスになりそうな機会を認識し、ビジネスプランを作成する。・プログラムのトピックは以下の通りである。<ul style="list-style-type: none">起業家：何をする人か？起業家：彼らの役割と貢献起業家：鍵となる特質、スキル起業機会の見極め起業機会の評価アイデアを生みだし、評価する自分の商品・サービスをマーケティングする財務の楽しみビジネスに落とし込む：ビジネスプラン自分のビジネス開始に向けて進む・ビジネス“経営”ではなくビジネスの“創造”に重点を置いている。 <p>講師</p> <ul style="list-style-type: none">・中学校教師
<p>教育プログラムの効果 プログラムは限定された州でのみ実施されているが、大手の教育システムや若者組織との連携により、かなり広範囲の地域に影響を及ぼしている。 School-to-Entrepreneurship Initiatives や Junior Achievement of Middle America Inc. の行う Success Skills プログラムを通じて、これまでに 7,500 人もの中高生が本プログラムに参加し、起業の楽しみを体験した。</p>

東北経済産業局

「アントレプレナーシップ教育プログラムの普及に関する東北的モデル検討調査報告書」
(H13年度)

(資料)Kauffman Center for Entrepreneurial Leadership ホームページ

<http://www.emkf.org/pages/55.cfm>

Making a Job ホームページ <http://info.makingajob.com/index.html>

Mini-Society

<p>教育の対象者 8～12歳</p> <p>教育の実施者 小学校</p> <p>教育プログラム実施のコーディネーター Kauffman Center for Entrepreneurial Leadership 大学、教育省(Ministry of Education)、School-to-Entrepreneurshipの校区や、4-HやGirls Inc.などの課外活動の全国組織を通じて普及を図っている。</p> <p>教育プログラムの企画者 Dr. Marilyn Kourilsky (Kauffman Center for Entrepreneurial Leadershipの理事会(the board of directors)のchief education advisor)</p>
<p>教育プログラム企画の背景・経緯 起業家精神に触れて育った子どもは、起業をキャリア選択肢の一つとして捉えやすい。</p> <p>教育プログラムの目的 起業家精神を体験する機会を提供し、その経験の中で起業のコンセプトを教え、アントレプレナーシップ教育を、語学・芸術・数学・科学・社会科・批判的思考方・問題解決・実践技術・共同学習などの他教科と融合させる。</p>
<p>教育プログラムの内容 実施期間・回数・頻度・延べ時間 ・最低10週間</p> <p>実施場所 ・小学校 ・小学校外</p> <p>プログラムの内容</p> <ul style="list-style-type: none">・「経験は最良の教師である」との視点に立ち、経験とロールプレイングと注意深い指導を通して、起業家精神を教えるように設計されているプログラム。・本プログラムにおいて、子ども達は、教室内または管理された学校外の環境において起業家精神を体験する。その後、指導者は、子供達の経験の奥にあるコンセプトについて話し合う。実際の経験を子ども達が有しているため、子ども達自身によって経験を自分のものにすることができる真の学習である。・数学や読み書きなどの基礎的科目の学習を強化し、個人的価値観を見出すことを促しながら、起業家精神や意志決定、批判的思考方を教える、体験型・自律的・学際的なアプローチ。・生徒は、教室社会の内外において機会を探し、商品・サービスを開発し、自分自身のビジネスを創造する。・プログラムは、子ども達に自ら社会を形成していくことを動機付けるために、物のない状態から始められる。社会は、名前や旗や通貨で完成されていく。自分自身で形成する、体験型の社会の中で、子ども達は、市場機会に合ったビジネスを自律的に興していく。・プログラムはモジュール形式であり、多様な環境で利用することができる。 <p>概要 起業家精神 経済 法律、政治、倫理</p>

講師

- ・ 小学校教師、若者リーダー

訓練を受けた教師および若者リーダーの人数は、直近の会計年度において3,125人にのぼり、これまでの累計で9,375人に達する。

教育プログラムの効果

生徒は、機会の認識とビジネスアイデアの創造を含む起業活動の中で、現実社会を体験し、協力の重要性を発見し、創造性や理論を構築し、目標を設定し達成することを学び、自分を力づけて自給自足するセンスを高め、楽しむことができる。

本プログラムで身に付けたスキル・知識は、美術、社会科、数学、科学、批判的思考方、問題解決、実践技術、共同学習などの他の教科に合体させたり、補足することができる。

現在、アメリカ国内の全50州で実施されている。直近の会計年度に訓練を受けた教師および若者リーダーに本プログラムを教わった小学校3年生～中学校1年生までの生徒の数は、93,750人にのぼる。

起業教育では唯一、アメリカ教育省(U.S. Department of Education)の National Diffusion Network の一環に選ばれている。

(資料)Kauffman Center for Entrepreneurial Leadership ホームページ

<http://www.emkf.org/pages/56.cfm>

http://www.emkf.org/entrepreneurship/programs/mini_society.cfm

New Youth Entrepreneur

<p>教育の対象者 中学2年生～高校1年生</p> <p>教育の実施者 中学校、高等学校 各種若者組織</p> <p>教育プログラム実施のコーディネーター Kauffman Center for Entrepreneurial Leadership Education, Training and Enterprise Center(EDTEC)</p> <p>教育プログラムの企画者 Kauffman Center for Entrepreneurial Leadership Education, Training and Enterprise Center(EDTEC)</p>
<p>教育プログラムの内容</p> <p>実施場所 ・中学校、高等学校および学校外</p> <p>対象者の人数規模 ・個人またはグループ</p> <p>プログラムの内容 ・中心市街地や郊外の学校の生徒に、起業をキャリア選択肢の一つとして示し、目標を設定し、起業家の心構えを身に付けることを教える体験型カリキュラム。 ・課題を解決するために創造性と理論を使い、起業をするには学問的下地が重要であることを学ぶ。 ・カリキュラムは教育の先駆的専門家や起業成功者の意見を盛り込んで設計された。 ・12のモジュールから構成されており、多様な環境で利用することができる。 起業家？ えっ、私？ そう！貴方です 機会 貴方の周りにあります 全ての地域におけるビジネスの理想 アイデアの売り方 「私にとってそこに何があるか？」という要素(WIIFM(What's in it For Me?) Factor) 起業資金 ビジネスを開始する場所 ビジネスの所有方法のタイプ どこで支援を得るか 記録や経理 儲かった？ ゲームのルール 自分のビジネスをどう世話するか 実現できる そう！貴方が(ビジネスプラン)</p> <p>講師 ・学校教師など</p> <p>使用教材 ・英語版とスペイン語版がある。</p>
<p>教育プログラム実施にかかる事業費 教材費用：\$50.00</p>
<p>教育プログラムの効果 本プログラムによって生徒は、自分を力づけて自給自足するセンスを高めることができる。</p>

東北経済産業局

「アントレプレナーシップ教育プログラムの普及に関する東北的モデル検討調査報告書」
(H13年度)

これまでに、National Center for Neighborhood Enterprise Violence Free Zone Project in Los Angeles や Institute for Responsible Fatherhood and Revitalization の3つの地区など、若者主導の地域リーダーの会合において利用された。

その他、第7回 Joint National Conference on Alternatives to Expulsion, Suspension, and Dropping Out of School; the National Association of Independent Schools Conference や Association for Supervision and Curriculum Development において展示された。

現在ビジネスを経営中の起業家が、アメリカの若者が起業に備える上で価値ある資源であると本プログラムを称賛している。

教育者は、本プログラムを実験的に使用した上で、カリキュラムの基準に達しており、若者に起業の原理や実践について伝え、さらなる起業教育に対する生徒の意欲を高めることができると称賛した。

(資料)Kauffman Center for Entrepreneurial Leadership ホームページ

<http://www.emkf.org/pages/127.cfm>

http://www.entreworld.org/Bookstore/Product.cfm?DID=6&Product_ID=9&CATID=22

(2) ピッツバーグ中小企業振興センター

<p>教育の対象者 高校生</p> <p>教育の実施者 高等学校</p> <p>教育プログラム実施のコーディネーター ピッツバーグ中小企業振興センター</p> <p>教育プログラムの企画者 ピッツバーグ中小企業振興センター</p>
<p>教育プログラム企画の背景・経緯</p> <p>中小企業振興センターの本業は、「失業は恥じるのではなく、自分がしたいビジネスを起こす好機」というプラス思考の元での失業者対策。 失業者の提出した事業計画は成功の確率や本人の健康状態、家庭環境が事業に支障がないかなどをもとにふるいにかけられ、15時間以上の個別コンサルタントと20時間の起業家教育としての訓練も受ける。約3分の1が成功すると言われている。</p> <p>日本では良い学校に入り、良い会社に就職し、後は昇進することを人生の目標とする『会社人間』を作り出してきた一方、アメリカでは、子供の頃から、『 になりたい』という将来の夢を実現させるためにキャリア・カウンセラーをつけるほどで徹底して自立を促している。それが起業家精神を生み出していると言われている。</p>
<p>教育プログラムの内容</p> <p>実施場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校の教室内 ・企業施設内（見学时） <p>対象者の人数規模</p> <ul style="list-style-type: none"> ・70人 <p>プログラムの内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・起業経験を持つ経営者を講師として地元高等学校に派遣し、ビジネスを始めるノウハウや事業計画について話してもらう。 ・生徒に大企業や中小企業の見学をさせる。 ・生徒たちにはビジネスの事業計画を提出させる。（将来の漠然とした夢ではなく、今すぐにでもできる芝生刈りやインターネット画面の作成といった現実味のあるもの） <p>講師</p> <ul style="list-style-type: none"> ・起業経験を持つ経営者 等
<p>教育プログラムの効果</p> <p>実際に事業を始める生徒、あるいは大学に進学して、事業に必要なマーケティングなどの専門課程を学ぶ生徒もいる。 卒業生からは、「自信がついた」、「視野が広がった」という声が寄せられている。</p>
<p>行政・企業・地域社会による支援の状況</p> <p>ピッツバーグには革新的な技術をもとに起業をめざす事業家に対し、10~20万ドルを投資する非営利組織「イノベーション・ワークス」(IW)がある。資金はペンシルバニア州から出ている。</p>

(資料)「【米国みたま】(1)自立の精神養う 中学、高校から起業家教育」『産経新聞』(2000年10月18日東京夕刊)

(3) The Girls' Middle School

Entrepreneurial Program

<p>教育の対象者 中学校1年生</p> <p>教育の実施者 The Girls' Middle School 学問を創造性と組み合わせ、若い少女達の感情的・社会的ニーズに重点を置いた革新的カリキュラムを導入し、様々な文化・国籍を持つ生徒・教師・カリキュラムを有する女子だけの中学校。501(c)(3)非営利組織。</p> <p>教育プログラムの企画者 The Girls' Middle School</p>
<p>教育プログラム企画の背景・経緯 スタンフォード大学やカリフォルニア大学バークレー校など学生起業が盛んな大学では、ベンチャーキャピタリストと起業家のお見合いイベントは珍しくない。ベンチャーキャピタリストが優秀な起業家を発掘する場でもある。</p> <p>教育プログラムの目的 若い時からビジネスに触れさせる。ビジネスには経済、数学、チームワーク、精神コントロールなど、教育に役立つあらゆる要素が凝縮されているため、意義は大きいと考えられている。</p>
<p>教育プログラムの内容</p> <p>実施期間・回数・頻度・延べ時間 ・1999-2000年度に開始した。</p> <p>実施場所 ・教室内 ・アントレプレナーナイトはパロアルト市内のホテル</p> <p>対象者の人数規模 ・40人が3～4人のグループに分かれる</p> <p>プログラムの内容 ・生徒はビジネスプランを作成し、投資家に対する起業資金の要請を行って自分達の会社の資金を受け取る。商品サンプルを制作し、工場生産を行って、実際の市場において自分達の商品・サービスを販売する。 ・当プログラムは4段階から構成される。 ・ビジネスの創造 生徒達は、自分の強みや才能、興味をビジネス世界で最も活用できる方法についてブレインストーミングを行う。次に自分達が商品やサービスを選択し、会社のイメージやロゴ、それに合ったタグラインを制作する。各チームとも、財務、製造、営業、マーケティングの4つのVice President役の中から各人1つの役割を選ぶ。 ・ビジネスプランの作成 学期開始から数週間後には、正式なビジネスプランの作成を開始する。ビジネスプランによって、生徒達は自分達の会社を成功に導き、追加資金の調達のために自分達のアイデアを投資家に発表することができる。ビジネスプランの作成が完了すると、生徒はThe Girls' Middle Schoolより起業資金を借りることが許される。 ・「アントレプレナーナイト」 1月に実施され、全てのチームが参加する。各チームは、この夜、地域の投資家の前でそれぞれのビジネスプランの発表を行い、ビジネス拡張のための追加投資資金を受け取る。この後でチームは、将来的な資金目標を設定し、その目標達成に向けた戦略を</p>

<p>策定する。</p> <p>2000年1月の「アントレプレナーナイト」では、子供から老人までを対象にカスタム仕様の楽しいウェブページを手取りで安くデザインするビジネスなどが発表された。生徒たちはプロ顔負けの「事業計画書」を用意し、資金調達を巡りベンチャーキャピタリストと真剣勝負をすし、事業計画を披露した9社には、それぞれ65～370ドルの出資が決まった。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 将来的歳入 資金を得ると、チームは投資家に対してビジネスを成功に導く責任を負うことになる。各チームは、投資家に対し、4半期毎に報告書を提出し、ビジネスの進展状況を伝える。また、法人費用、税金、人件費、キャッシュフロー、費用や利子などビジネスを運営する上での財務面での現実を学ぶ。 クラスは、競争を目的とするのではなく、チームは資金の増減によって評価されることはない。チームは、学年末において、クラスへの参加状況、チームワークやコミュニケーション能力、また何を学んだかによって評価される。・ 清算 プログラム終了時に、各チームは、全資産を清算し、債権者に全費用を支払い、全借金を返済し、投資家に配当し、20%をチャリティーに寄付する。残りの利益は、会社創設者の間で均等に配分される。 <p>講師</p> <ul style="list-style-type: none">・ 取締役会のように、各チームに2名ずつコーチが助言者として付く。
<p>教育プログラムの効果</p> <p>プログラムを通じて生徒は、ビジネス、財務、営業、マーケティング、製造、運営、管理について学習する。</p> <p>また、創造性、チームワーク、コミュニケーション、コンセンサスの構築、個人の責任の重要性について学習し、自分達のビジネスを運営する楽しみや不満を体験する中でお互いに歩み寄ることを学習する。</p> <p>生徒の親からは「子供が起業家になるかどうかは別問題。多様な人生を選ぶための能力を育てるいい教育だと思う。」という電子メールが届いた。</p>
<p>行政・企業・地域社会による支援の状況</p> <p>「アントレプレナーナイト」では、著名なキャピタリスト、エンジェル投資家ら11人がボランティアで「投資団」を結成し、事業の有望性や問題点を遠慮なく指摘する。</p>
<p>照会先</p> <p>Girls' Middle School</p> <ul style="list-style-type: none">・ 180 N. Rengstorff Avenue Mountain View, California 94043, U.S.A.・ TEL: +1-650-968-8338 FAX: +1-650-968-4775 Email: gms@girlsms.org

(資料)Girls' Middle School ホームページ http://www.girlsms.org/GMS_Home.html、
http://www.girlsms.org/Entre_Program/Main.html
「進化するシリコンバレー(中)資本主義の英才教育-教科書より起業体験」『日経産業新聞』(2000年2月23日)

(4) BizWorld Foundation

BizWorld

<p>教育の対象者 小学3年生～中学2年生</p> <p>教育の実施者 小学校、中学校</p> <p>教育プログラム実施のコーディネーター BizWorld Foundation 生徒にビジネス、経済、起業家精神を教える実社会経験を提供する教育を向上させることを目指す501(c)(3)非営利組織。 会長：Timothy C. Draper (Draper Fisher JurvetsonのManaging Partner) アメリカ・シリコンバレーの有力ベンチャーキャピタリスト</p> <p>教育プログラムの企画者 Timothy C. Draper (Draper Fisher JurvetsonのManaging Partner)</p>
<p>教育プログラム企画の背景・経緯 1992年、Timothy C. Draper氏が、小学校3年生の娘のクラスにビジネスと起業家精神を教えるために本プログラムのコンセプトを開発した。 1997年、本プログラムを展開してほしいというニーズに応じて、Draper氏は非営利の財団を設立した。</p> <p>教育プログラムの目標 ボランティアや親を教室内に呼び込み、小学3年生から中学2年生の子どもがビジネスを学ぶことを奨励する。</p> <p>教育プログラムの目的 速いテンポで進むビジネスの世界を教室内に持ち込み、ボランティアや親にリードされながらシミュレーションを体験する。生徒は、資本市場を追ったり、マーケティングキャンペーンをおこなったり、財務記録を付ける中で、数学や読み書きのような科目と共通したスキルを学ぶ。</p>
<p>教育プログラムの内容</p> <p>実施期間・回数・頻度・延べ時間 ・1997年に開始した。 ・授業時間内または課外プログラムとして実施される。 ・2時間×4回、計8時間のプログラム。各回は異なる日に実施される。</p> <p>実施場所 ・教室内</p> <p>対象者の人数規模 ・グループ単位</p> <p>プログラムの内容 ・各チームが、フレンドシップ腕輪を製造・販売する会社となる。 <1日目：企画の日> ・チームに分かれて会社となる。各社は、社長(President)、営業、マーケティング、製造、企画、財務の各担当 Vice President の計6人の社員で構成される。 ・ビジネスの概念を学ぶ。 ビジネスとは何か ビジネスの中の様々な仕事 ビジネスの興し方 起業のための資金調達の仕方</p>

<p>資本市場とは何か、その仕組み 質を確保しながら費用に見合った製品を設計する方法</p> <ul style="list-style-type: none">・各チームは、いくらの資金を集めるか、どのようなタイプの腕輪を製造するかといった重要な決定をおこなう。 <p><2日目：製造の日></p> <ul style="list-style-type: none">・銀行から資金を借りて、腕輪を製造し、価格を付ける。・以下の事項を学ぶ。 様々なタイプの製造プロセス 銀行員は何をする人か 資源の希少性 どうやって価格を決めるか <ul style="list-style-type: none">・時間と資源を有効に活用することと、費用を上回る価格を付けることに専念する。 <p><3日目：マーケットの日></p> <ul style="list-style-type: none">・ベンチャーキャピタルからの2度目の出資に応じ、マーケティングと営業について学び、製品を販売して仮想のお金「BizBucks」を得る。・ベンチャーキャピタルに自分達の会社に投資してもらうための売り込み手法を学び、宣伝キャンペーンを張り（マーケティングスローガンを作り、ロゴの入ったポスターを作り、コマーシャルを作る）、店舗設営をし、バザーで他のグループの生徒に腕輪を売る。 <p><4日目：会計の日></p> <ul style="list-style-type: none">・収支報告書を作成し、以下の事項を学ぶ。 会計の概念を学ぶ 会計用語を学ぶ どの会社が最高の売上を達成したかを定める どの会社が最高の価値を達成したかを定める <ul style="list-style-type: none">・最後に生徒は、上手く行ったことや、もし再度本プログラムに参加したら異なった方法を使ったと思うことなどについて振り返る。また、学校の授業で習うことを、ビジネスを開始・運営することと結び付ける。・子どもがグリーティングカード会社のチーフエグゼクティブになっていくオンライン版の「BizWorld Game」もある。 <p>講師</p> <ul style="list-style-type: none">・ボランティアや親
<p>教育プログラム実施にかかる事業費 無料</p>
<p>教育プログラムの効果 生徒は、以下のことを学ぶことができる。</p> <ul style="list-style-type: none">・債務と資本の違い・会社の所有者と資本市場の関係・企画とマーケティングの重要性・基本的営業スキル・供給と需要の関係・ビジネスを成功させるには、一生懸命働くことと楽しむことのバランスが必要であること <p>本プログラムは、親、教師、ボランティア、地域グループ、企業、寄付者を効果的な教育のために一つにすることによって、生徒の生活を変えることができる。 1997-1998年度は50、1998-1999年度には150、1999-2000年度には250以上の教室や地域グループで実施された。これまでに25,000人の生徒に本プログラムを提供した。</p>

東北経済産業局

「アントレプレナーシップ教育プログラムの普及に関する東北的モデル検討調査報告書」
(H13年度)

照会先

BizWorld Offices

- Headquarters, 400 Seaport Court, Suite 104, Redwood City, California 94063, U.S.A.
- TEL: +1-650-368-0777 FAX: +1-650-368-1610 Email: info@bizworld.org

(資料) BizWorld Foundation ホームページ <http://www.bizworld.org/>

「進化するシリコンバレー(中)資本主義の英才教育-教科書より起業体験」『日経産業新聞』(2000年2月23日)
